

授業科目名	アカデミックイングリッシュB(Writing Skills)	担当教員	助教 Lynne Murphy
開講年次・学期	医学科1-6年、看護学科1-4年・後期	必修/選択	自由
開講形態	演習	時間数/単位数	医学科20時間・看護学科0.5単位
学習目標			
<p>This course is designed as an elective course for students wishing to advance their academic writing skills. We are striving to provide students with a practical and efficient approach to learning the skills, strategies and knowledge necessary for successful writing.</p> <p>本授業では、英語論文やレポート執筆の際に必要なとなる上級レベルのライティング能力の向上を目指した語学演習を行います。</p> <p>*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。</p>			
ディプロマポリシーとの関連			
<p><医学科></p> <p>4. 医療人に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p> <p><看護学科></p> <p>1. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会・文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。</p> <p>6. 社会における保健・医療・福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。</p>			
学修成果(到達目標)			
<p>Each unit contains an authentic text to support students by providing ideas and context. Students will read and analyze these texts to see how others have written on the same or similar topics. The students will be encouraged to work together, share ideas and edit their own writing to refine their writing to be the best it can be.</p>			
キーワード			
英語コミュニケーションスキル、専門(医学・看護)英語			
授業の進め方			
<p>Having read and learned about the structure of a good Writing Model, the students will proceed to developing their own thoughts and expressions towards the completion of Independent Writing tasks.</p>			
評価方法			
Attitude and engagement in class activities: 30%, Final Exam: 70%			
合否基準			
総合点100点とし、60点以上を合格とする。			
教科書・参考書			
<p>Book: Inside Writing 2 Authors: Jennifer Bixby, Nigel A. Caplan Company: Oxford University Press ISBN: 978-0-19-460126-9 *Each student should purchase their own new textbook for this class.</p>			
オフィスアワー			
eクリニックのオフィスアワー時			
コア・カリとの関連			
<p><医学科></p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>① コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>② コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>③ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>① 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>② 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>③ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。</p> <p>④ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。</p> <p>⑤ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>			
<p><看護学科></p> <p>A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性</p> <p>① 看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解できる。</p> <p>② 人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。</p> <p>③ 自分の傾向がわかり、自分の課題を意識しながらコミュニケーションをとることができる。</p> <p>A-7-3) 国際社会・多様な文化における看護職の役割</p> <p>① 国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。</p> <p>② 多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。</p> <p>③ 国際社会における健康課題と戦略を理解し、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。</p>			